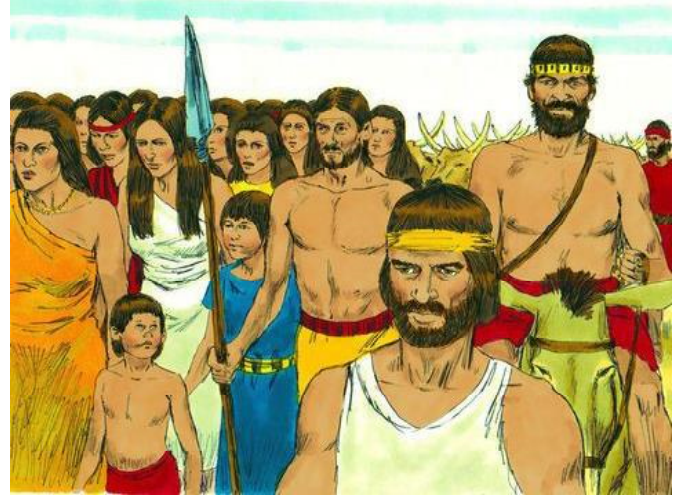


●『讚美歌21』206番

1. なのかのたびじ まもられあゆみ
きょうまたここに あつまりいのる
みめぐみのひよ あんそくのひよ
2. しゅのなにより つみのゆるしを
もとめるものに へいわをつげる
みこえきくひよ よろこびのひよ
3. みなをたたえて うたうわれらと
ふっかつのイエスは ともにおられて
しゅのしょくたくに したしくまねく
4. めぐりくるたび ここにあつまり
かみのことばに やしなわれるひ
みめぐみのひよ あんそくのひよ



●『讚美歌21』292番

1. 勝利をたたえて わた舌うたえ
主イエスは世のため 十字架背負い
救いのみわざを なしとげられた
2. みむねに従い 父より離れ
おとめの胎より この世に生まれ
苦難をいとわず 進み行かれた
3. み神の小羊 十字架にかかり
あざけり責められ 肉をも裂かれ
世の罪贖う 血をながされた
4. 葉もなく実もない 十字架のその木
とうといわが主の みからだ支え
救いをもたらす そのうるわしさ
5. たたえよ栄光に 輝く主イエス
たたえよ父と子 また聖霊
ひとりのみ神を とこしえまでも



● 『讚美歌 21』 284番

1. 荒れ野の中で 飢えに苦しみ
主イエスはこころみを お受けになった
2. この主に続き われらも共に
祈りたやさず 従い歩もう
3. わが行く道の 暗い時にも
主よ行く先を 照らしてください
4. 主は世の荒れ野 歩む我らと
共におられる 勝利の日まで

● 『讚美歌』 542番

1. 世をこぞりて ほめたたえよ
みさかえつきせぬ あまつかみを
アーメン

